

人口(男) 4,698人
(女) 5,040人
合計 9,738人
2月中の転入 8人
転出 19人
世帯数 2,304世帯

(2月末日住民登録調べ)

広報は、毎月10日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。
広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。

気分晴れ晴れ でっかい台地

800人が歩け歩け



手を振る子供。歓声を上げる子供。はじめてスキーをしたという人。
さわやかな汗をかいてみないかにも楽しそうです。
空は、久しぶりの青空。
三月一日に大野台ハイランドで開かれた第二回県民歩くスキーの集いは色とりどりのスキー服姿であふれました。
この「集い」は「雪と親しもう」を相言葉に、県、県教育委員会、秋田県民会館、大野台開発推進協議会、四者が主催。昨年の第一回集いは四百人をこえる参加者でにぎわいました。今年は、秋田市など遠方からの参加者をはじめ、八百人が申し込み。大会関係者、父兄など千人近い人数にふくれ上がりしました。
コースは、赤松や杉のあい間をぬぐう林間コースや、広々とした平坦地、登り下り、水辺のコースと変化にとんでおり、参加者全員が大野台の大自然を満喫。
「うさぎさんになったような気持ちです」と、初めてのスキー体験者も、歩くスキーのとりこになった様子です。
指導陣は、国体選手クラスのベテランがズラリ。チビっ子に、基本的な技術とともに大きな夢をあたえてくれました。
主催者側では、参加者全員にトン汁と記念タオル、記念バッヂをプレゼント。「歩くスキー」を県民スポーツとして広めようと、誓い合っています。

第2回体力づくり

県民歩くスキーの集い

気長に 根気強く 健康づくりの輪を広げよう

健康大学で第三期閉講式



各分野から健康づくりへの積極的な提言が続く

「お母さんへ」広報交通安全キャンペーン

登校前は

ゆとりをもつて

子供のいるご家庭では、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、次の点に十分気をつけましょう。
◎忘れものをさせない
◎通学時間にゆとりをもたせる
一方、車を運転される方は、子供の行動特性を十分理解して、子供を見



4月6日～15日

春の全国交通安全運動



「健康づくりは百年先きに、実を結ぶ仕事。自信を持って根気強くがんばってほしい」と激励のあいさつ。また最近の病気で「結核が

ふえている結核
検診で予防を

助言者の各病院長からは、「健康づくりは百年先きに、実を結ぶ仕事。自信を持って根気強くがんばってほしい」と激励のあいさつ。また最近の病気で「結核が

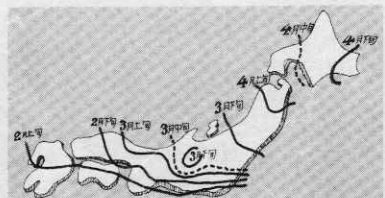
「賢い消費者になるための商品知識を」と開かれた消費生活講座。六日、最終講座と閉講式が開かれました。
この講座は、合川町消費者会議、県生活センター、町の三者が共催。ムダな買物、危険な買物をなくしようと、学習を重ねてきました。

「賢い消費者になるための商品知識を」と開かれた消費生活講座。六日、最終講座と閉講式が開かれました。
この講座は、合川町消費者会議、県生活センター、町の三者が共催。ムダな買物、危険な買物をなくしようと、学習を重ねてきました。

消費生活講座も
閉講式
三十四名が卒業

彼岸

二十一日は、彼岸の中。小阿仁地方には、今年も「マト火」の起源は明らかではありません。マト火の起源地では、お墓で燃やす火を「マト火」と呼んだと言います。祖先の霊の迎え火、送り火が始まりのようです。
また、他地方では「百万遍数珠(じゆず)」などと呼ばれる「送り念仏」が伝えられている地区もあります。大きな輪の数珠を手から手へと回すこの行事は、ふるさとへの助け合いの心を見ようとするものです。
ところで、春はどのくらいのスビードでやってくるのでしょうか。二月上旬から中旬にかけて西日本では一日約十キロメートルですが、東日本に入ると四分の一にスピードダウンします。
これが三月中旬以降になると一日約二十キロ、時速約八百メートルにスピードアップします。
春は、まもなくです。



町長日記から

東洋精糖の進出が決ま一人の生徒からも出なつたあと、県と一緒になった。三年間、自分の生活の場として、新しい人間関係の緒口(いとぐち)をつかみ、自律の心を養って、忘れることのない母校の限らない愛がそうさせたのだ。
数多い県外就職を逆転させるために身派な卒業式だったからだ。命を賭して頑張らなければならぬ。

おめでとう四十人の
“学士さん”

下杉